彼女は憶えているだろうか
二人で摘んだフレップの味を
互いの訣別を悟った
告白の夜を――

ブロンデエンカの同居人

その母娘が
我家へ来たのは
十月半ば
部屋の窓越しに
雪虫を見た日だった

差し向き
布団を二組
ご用意して
頂きたいのです

寝巻きの類いは
持参された
そうでして…

あの…夕餉は
すまされたのね？

キコちゃん

こちらの
マリーヤさんは
君と同じ
十三歳だそうだ

仲良く
してあげて
下さいね

はっ
はい！

Разуйтесь, пожалуйста, здесь.
ブーツはこの場でぬいで下さい
あの… ひとまず 奥へ……
昭和二十年八月九日
中立条約を一方的に破棄して
対日参戦したソヴィエト連邦は
間も無く私たち家族の住む
樺太南部へと
本格的な軍事侵攻を開始し
軍民を分かたず攻撃を続け
日本軍との戦闘の後
二十五日には全島の占領を遂行
北海道への緊急疎開が
果たせなかった住民は
島外への移動を禁じられ
ソ連の統治下に
置かれることとなった
その後も暫くは赤軍兵による
殺人・掠奪・強姦・放火等の
事件が頻発したが
やがて段階的に収束、
愁眉が開きかけたのも 束の間――
次いで占領政策増進のため
専任の将校及び
民政官とその妻子らが
本国より頻りに
渡来してきたのだった

しかし当時　対独戦によって
疲弊していたソ連は
住宅の建設すら
侭ならぬ状況にあり
日本人ら住民は半ば強制的に
ソ連人への部屋貸しを
求められる事態が
漸次増していった

かくて我家にも
御鉢がまわってきて――

母はそれを厭うたが

樺太庁警察部に奉職していた父が
九月二日未明
ソ連側捜査機関に引致されて以降
不在であった事情もあり
「婦人将校を住まわせた方が
安全であろう」と
同じく官吏の従兄に諭され
心ならずも諒解したのだった

明日また
顔を出しますので

ええ…

随分と奇妙な仕儀に
至ったものだ

私は余所ごとのように
平らかに思った

あの八月の悲惨に
較べたら――

お父ちゃん
いつ帰って
くるんだべか……

ん……
うわっ
ギシ
はぁ
んぶっ

ペラ
Ніяк не можу заснути, бо мама так голосно хропить!
Можна поспати тут хоча б цю ніч?
ペラ
はぁ!?
なぁにあんたの寝床はあっちだべ!!
あ…
スー スー
ガーッ
ガーッ
かあちゃんのいびきがやかましくて寝つけないってかい?
まぁ確かにそったら風だべね…
仕方ない蹴っぽったりすんでないよ
えーと
ハラショ ハラショ

きゃあっ
ドサッ
Ти така добра!
ちょっ
……！
ああああああっ
バキッ
！
あんねぇ……
なして来たその日に喧嘩すんの!?
Це ти в усьому винна!

お父ちゃん ごめん
純潔さ 守れなかった…
彼女の母に 齟齬がないと知ったのは 後日である

……

そうそう
ガサ

Кислятина!
あはは すっぱいべ?

惨たんたる顔合わせだったが 私たちは直ぐに友達となった

彼女――
マリーヤ・ヴァシーリエヴナ
・ディアチェンコは
ウクライナ北部の小村に生まれ
父親はソヴィエト労農赤軍の
将校だった

しかしハールキウにて
その父が戦死
軍医として徴用された母親は
独ソ戦争を生き抜いたが
本国の命をうけ
〝ソ連領・南サハリン〟へ
娘を伴い赴任してきたのだという

Ати лйса!
Ати лйса!

ロスケの子って
こったら童っこみで
だったかべか?

忠兄ちゃん…

僕もあいつと
赤フレップ詰みを
したっけなぁ

やぁ
仲良くやっている
ようだね

Ты уже привыкла в новому дому?
Ну…
サッ
…兄ちゃんは今日もお仕事？
ああ
憲兵さん達を長浜まで案内する途上さ
彼らが来てから悪さをする兵らも逮捕されたし庁内も漸く安全秩序が回復して来た
キコちゃんも もう男装をせずともよいと思うよ
ねぇ…あんぱいはどうなの？
大事無いさ
髪を落とした君の辛さとは比ぶべくもない

君ら
日ソ戦争は
大概にしたまえよ

До встречи!

兄ちゃんそこのユーリイって人と小(ちゃ)んこい時から仲良くって

ソ連語はその人から習ったのさ

Юрій？

イエスイエス

お父ちゃんは役人だから引っぱられたっておかあちゃん言ってたけど…

兄ちゃんはロスケと付き合い慣れてたからうまいこと立ち回れたんでないかなぁ

昔っから胸を患っててさ

したけどそのおかげで兵隊にも義勇隊にもとられなかった

従兄だけど…

〝僕は生涯嫁は貰わん！〟なぁんてこいてっから

傍にいるぐれぇは…

Так нечесно!
冷汗三斗――
〝童っこ〟については
前言撤回である
はぐ
家まで
ぼっかけっこ！
ヨーイドン！

あの…
どうぞ…
アリガトウ
ゴザイマス

ガタッ

マーシャの母親は
聡明且つしとやかな
人物ではあったが、
私たち家族に対し
平素より余所余所しい
態度を通した

何とまぁ冷淡な人だと
思ったものだが

顧みるに
異なる習慣のもとに在った
双方の身の上を慮り
心置くふうを装うことで
不和を避けようと
顧慮したのやも知れぬ
そのような人付きの仕様も
あるのだと――

だが娘の方は遠慮がなかった

Здохни!
くたばれ！

ガッ

Фашистська свиня!
ファシストの豚野郎め！

ガッ

まーしゃ まーしゃ

オモオイ オモオイ！

季代子
光雄と先に風呂入んなさい

はい

オフロー！

♫
Ніч така, Господи,
місячна, зоряна,

Ясно, хоч тілки збирай.
Вийди, коханая,
працею зморена.
Хоч на хвилиночку в гай!
.....
なぁに
その悲しげな…
Тобто,
сумна?
Я знову
щось не те
наробила?
いやぁ
そったらこた
ないけどさ
お風呂ではもっと
朗らかな唄を
歌うもんだよぉ

ヘヤシの並木にぃ〜
ニッポン カッタ
ニッポン カッタ
ロッシャマケタァ
ロッシャノ
グンカン
ソコヌケタァ
そ…
そりゃ日露戦争の唄だべさ！
誰かが意地悪で教えたんだべね!?
アハハハハ

しみじみと
奇妙な縁だ

この折私は
往時の敵国人であった
彼女と友誼を深め――

まことの姉妹のように
心を許していた

父のいない寂しさも

ひもじさも

月の障りが
無くなった憂いさえ
二人同じと 堪えられた

そして私は幼稚にも

自らの小さな世界の裡ですら
何一つ
真実を知らずにいたのだ

あの日までは――

…季代チャン

えっ

兄ちゃん……

…ああ

君か……

これは……

ヒュー
ヒュー

……
残留ロシア人……たちと付合いが…あったからと秘密警察(ゲーペーウー)に……反ソ活動の嫌疑を掛けられてね……
即決裁判の末……シベリアへ…送られることになった

そったら…
すぐに帰れるんだべ!?

25年の……強制労働だそうだ

遠からず……こうなるのは判かっていたよ…
彼らにとって不都合な事実を……随分知ってしまったからね…
元吏員で……ロシア語に長じていた故にソ連体制に…移行するまではつなぎ役として必要とされた……それだけの話さ…

いいかい…君たち一家は悔しくともけっしてソ連人に逆らわず…必ず生きて内地へ行くんだ……

これからは君が家族を護るんだよ…

……兄ちゃ……

眼鏡……なしたのぉ？

幼い時分からの知己朋友……

そして全国の同年輩のあまたが死場へ送られた…

自分だけ遺されたようで寂しく思っていたが……

ようやく僕も…皆と同じ境涯に身を置くことが叶う…

これも天命と

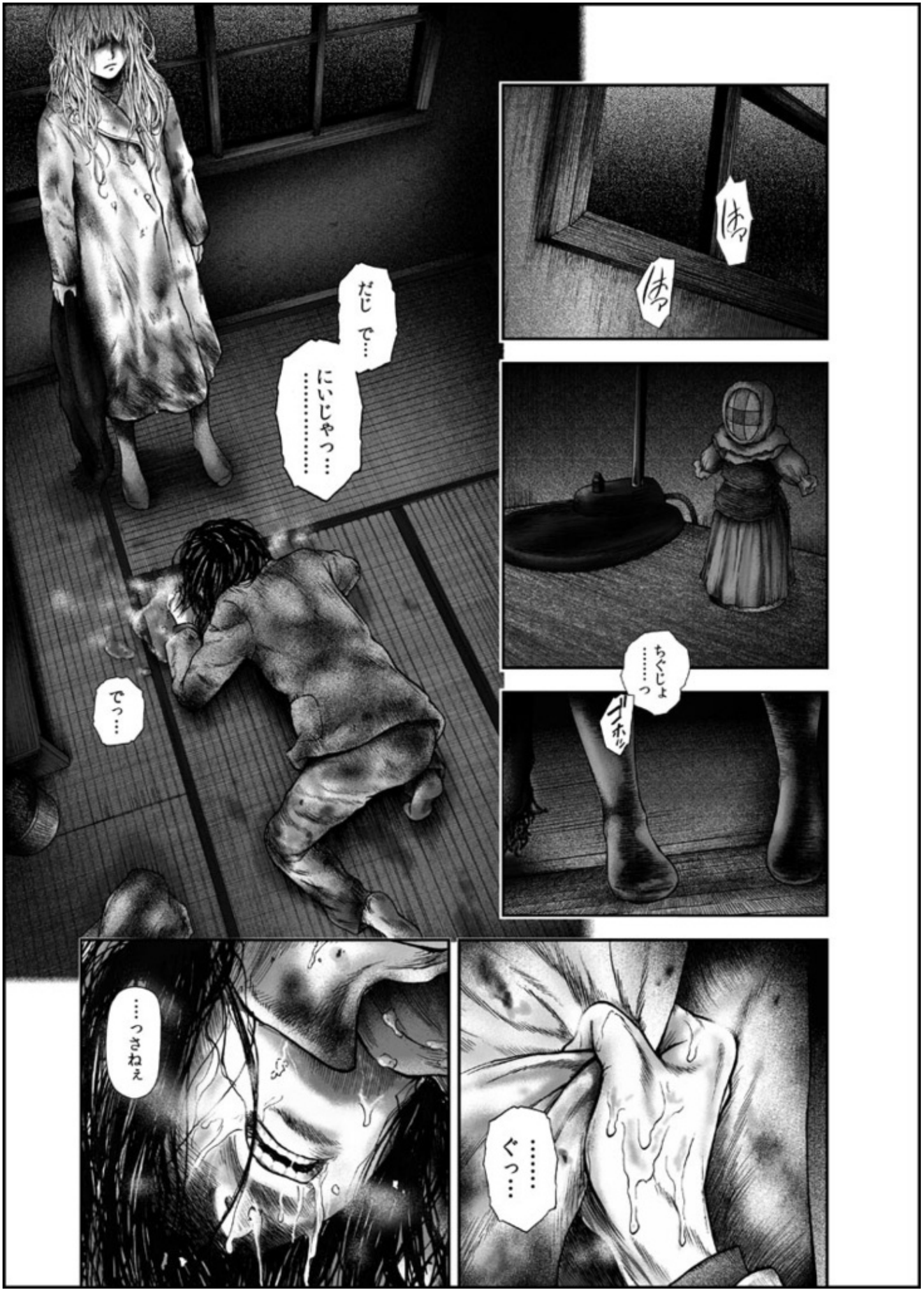
しっかり務めてくるよ

季代子

うう…

季代チャン…

うぇぇ…


はっ
はっ
だじ で…
にいじゃっ…
……
ちぐじょ
……っ
ゴボッ
でっ…
……っさねぇ
……
ぐっ…

露助めら
絶対に
ゆるさねぇ

病人まで
引っぱりやがって

畜生…!!

あんたらさえ
来なければ…

Спи, младенец ——

Спи, младенец мой прекрасный,
Баюшки-баю.
眠れや　コザークの愛しき吾子よ
Тихо смотрит месяц ясный
В колыбель твою.
月が仄射る揺籃の中で
Стану сказывать я сказки,
Песенку спою;
心良き言葉と歌を枕辺に
Ты ж дремли, закрывши глазки,
Баюшки-баю.
笑み浮かべ 安らかに眠れよや

Богатырь ты будешь с виду
И казак душой.
末ずえは英雄(コザーク)となり
戦場へ征く愛し子よ
Провожать тебя я выйду -
Ты махнешь рукой...
門出に手を振る　汝の凛々しさよ
Сколько горьких слёз украдкой
Я в ту ночь пролью!..
母は夜もすがら　密かに泣きすぐすとも
Спи, мой ангел, тихо, сладко,
Баюшки-баю.
愛し子よ　今は安らかに眠れよや

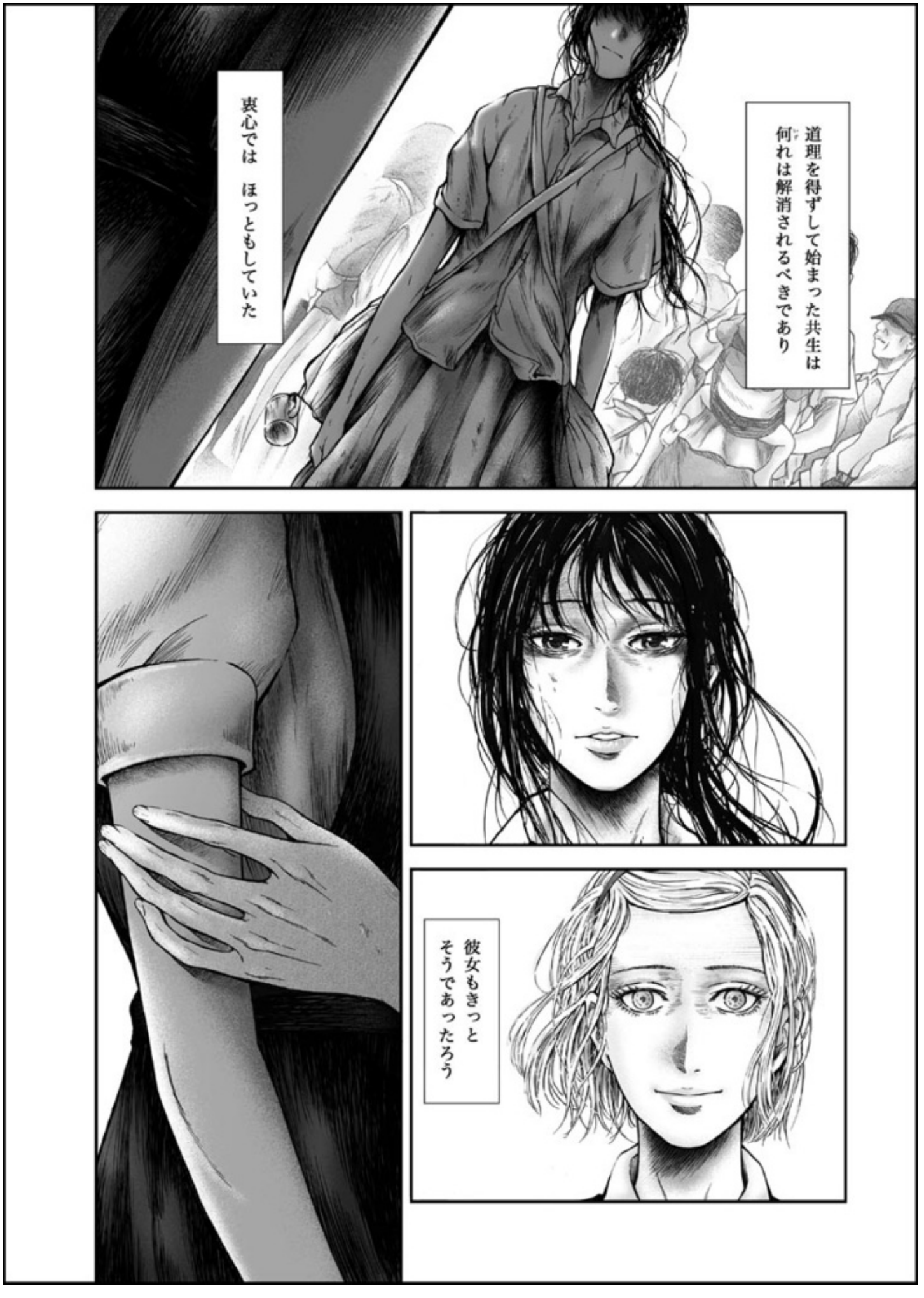
彼女の国の民謡は
概して暗晦な
趣を持つ

だが
この時ばかりは

恐怖と悲しみで凍れた心に
慰撫の如く
沁み入ってきたのだった

マーシャ……
あんたたちは
……！
昭和二十四年　七月二十三日
私たち母子は
ひと月間の収容所暮らしを終え
漸く北海道への引き揚げとなった

当然　離別は
心憂いものであったが
Прошу тебя,
не плачь!


道理を得ずして始まった共生は
何れは解消されるべきであり
裏心では　ほっともしていた
彼女もきっと
そうであったろう

ボオオオ…

住まいは
母娘にあげた

函館に上陸後
滝川の親戚の許へ
身を寄せた私たちは
やがて後年
帰還をはたした父と共に
新たな生活を営み始めた

私の故郷の町と
彼女の古里の村
その二つも今は無い

挿話・マーシャのこと

戦争がはじまって
お医者だったお母さんも
軍隊にとられたから
わたしたちはホロディーシィチェの
叔母さんの家に預けられたの

…次の年
ウクライナ人の警官をつれた
ファシストの虐殺部隊が
やってきてね

広場に党員と
パルチザンの家の子どもを
おおぜい並べて
親たちのみてる前で
撃ち殺しはじめたのよ

でもわたしと幾人かは
ぶたれただけで済んだ

お兄ちゃん(ミーシャ)と
いとこのガーリャとイーラも
やられちゃって

それから生き残り組で
トラックにのせられて――

長いことゆられて着いたのは
鉄条網で取りかこまれた孤児院

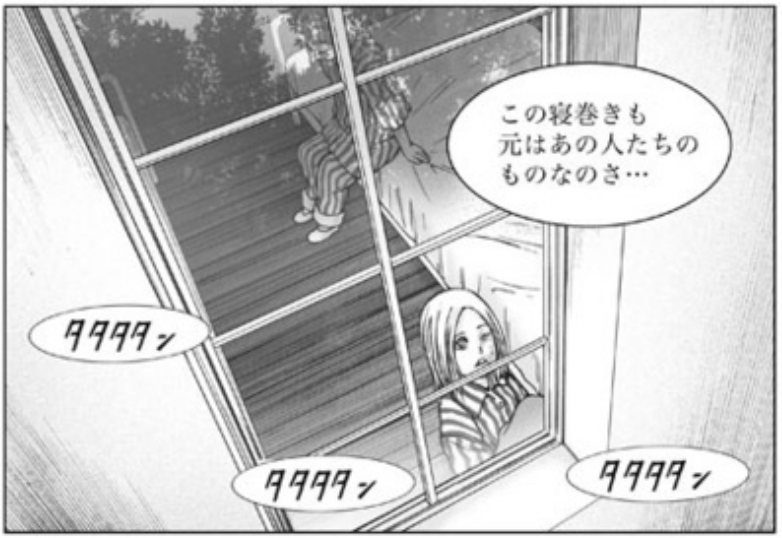
マーシカ
あなたは金色(ブロンデェンカ)の髪だから
きっと殺されないわ
…叔母さんの言った
とおりだった

Schnell!

降ろされてすぐ
女の子も男の子も
素っ裸にむかれて
消毒液をぶっかけられたわ

ダダダッ
ダダダッ
ユダヤ人を
撃ってるんだ

林むこうの谷間に
収容所(ラーゲリ)が
あるらしくてね
毎日
ひっきりなしに
きこえてくるよ


この寝巻きも
元はあの人たちの
ものなのさ…
ダダダダッ
ダダダダッ
ダダダダッ

その子は
ヴィーチャといって
ロシア人だった

私はキーイウでは
ロシア人の学校に通っていたから
ヴィーチャとはすぐに打ち解けたわ
彼は買い出しの途中で
さらわれてきたんだそう

子どもたちは毎日たっぷりの食事を与えられた
ヒムラーの誕生日にはチョコレートケーキも出された

だけれどしょっちゅう訪ねてくるドイツ人の医者に毎度たっぷり血を抜かれてじきにひどく弱ってしまったの

その子たちはいつの間にかいなくなっていて・・・

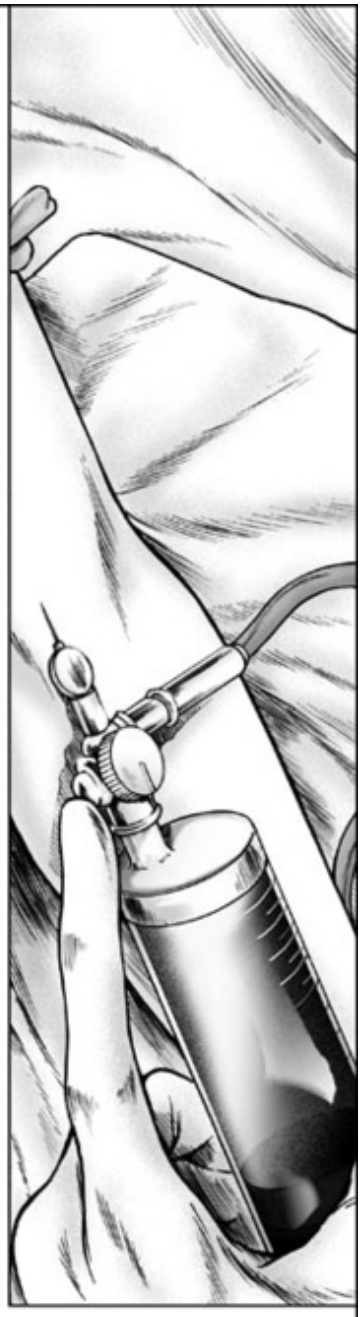
かわりに新しい子どもらが連れられてきたわ

私やヴィーチャは
血をとられなかった

これから
どうなるの？

……
むこうでドイツ人の家の子になるって…
金色髪なんてしらみが見つけにくいだけなのに
ヴィーチャ
その唄は…
何日かしてヴィーチャもいなくなった
わたしは結局ドイツには送られなかったの
金色髪で青眼だけどドイツ人の家の子になるには背丈が足りないからですって

銃の音がきこえてた
林むこうから
黒くて脂っこい煙が
立ちのぼった



そして庭に霜の降りる
時分になると
ファシストたちが
撤退をはじめて――

暖房が無くなって
みんな鴨の子みたいに
くっついてすごした

寒くて
とにかく寒くて…

だけどある日
素晴らしい
大砲の響きといっしょに
ドニプロー川を渡って
味方の軍が助けにきたの！

一人の兵士さんが
わたしを抱きあげて
ほっぺに何度も
口づけしてくれた
なのにわたしったら
床ずれで膿まみれだったから
申しわけないなって
そればかり考えてたんだわ

季代ちゃん

Ти плачеш?
ねぇ
泣いてるの？

Уже нічого не змінити.
本当に
仕様のない人ね

Ти ж сама так просила розповісти!
どうしても話してって
あなたがせがんだのよ？

Те, що ти співчуваєш і плачеш, уже неймовірно важливо.

そう…
悲しんで涙がでるっていうのは
この上もなく尊いことだわ

Ти можеш покохати дорослого чоловіка і маєш сили прийняти страшні помилки, скоєні іншими.

あなたは大人の男の人を
好きになることができるし
ひどい行いをした者たちを
受け入れる寛容さも持ってる

Благаю, не ставай такою, якою стала я.

けっして——
私のようになっては駄目

Прошу, не думай, що у тебе усе так само, як у мене.

私と同じだなんて
思っては駄目…

そんなに悲しんでくれなくていいのよ

我がソヴィエトは勝利したんですもの

ファシストにも

あなたたちにもね

余禄・銘々のこと

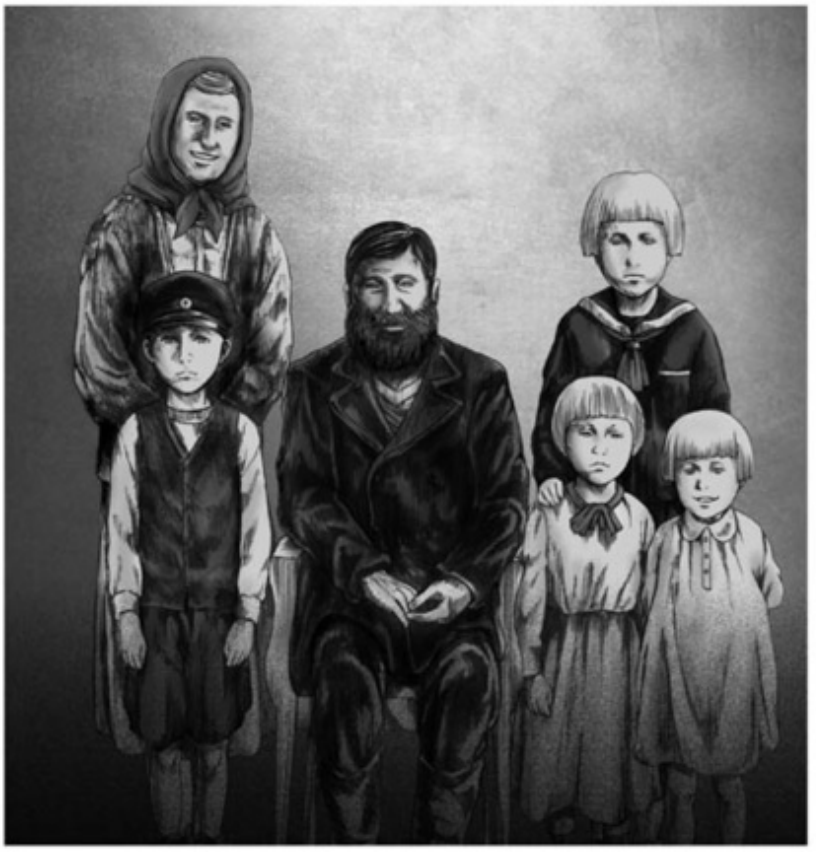
季代子の母・ひで子は近所のソ連人から洋裁や洗濯を受け負い、
生活費の足しとしました。
また、マーシャから露語を習って通訳を引き受けたり、
ソ連の缶詰工場へ勤めに出もしました。
夫の死亡や抑留によって残された樺太の妻たちは、
こうして懸命に家族を養ったのです。

マーシャの母　ダーリアは軍医少佐。
帝政ロシア・ウクライナ地方出身で、
大学卒業後はキーイウにて外科専攻の医師として勤務していましたが、
独ソ戦開戦に伴い徴用されました。
そしてベルリンで終戦を迎え、寡婦となった戦後　南樺太において
赤軍が接収した病院の院長兼医師の役を命ぜられ赴任してきました。

投擲爆弾の破片による躯の傷は、娘にとっての誇りです。

「タエちゃん　けっぱれけっぱれ！」

来るべきアメリカ軍の上陸に備え、
弾薬に見立てた漬物石を背負い
教練に励む季代子ら少国民たち。
樺太の子供はみなスキーの達人でした。



残留ロシア人

1905年　日露両国が締結したポーツマス条約により
南樺太が日本に回復した際、それまでその地に住んでいた
ロシア帝国臣民の大半はロシア本土へと引き揚げましたが、
200名ほどが残留する選択をしました。

それら人々は流暢な日本語を話し、子弟の一部は
日本人の学校に通うなどして
樺太の住民と平和的な共生関係を結んだとされています。

しかし彼ら在樺露人も 戦況の退勢に伴い、
昭和19年には樺太庁の指示で外国人居留地への移住を
余儀なくされ、さらに翌年のソ連侵攻により
日本人同様、苦難の途を辿ることとなりました。